

目次

1	はじめに	1
2	研究業績	2
	(1) 原著・報告	2
	(2) 解説	6
	(3) 著書	7
	(4) 報告書	8
	(5) シンポジウム・セミナー等	8
	(6) 学会発表	11
	(7) 講演等	21
	(8) その他	25
	(9) 受賞	25
	(10) 国際交流	25
3	研究活動	26
	(1) 地域看護学勉強会	26
	(2) 研究会	29
	(3) 研究プロジェクト	30
	(4) 教室内勉強会	32
4	教育活動	34
	(1) 学部講義	34
	(2) 学部実習	36
	(3) 大学院特論	37
	(4) 大学院実習	44
	(5) 活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム 大学院講 義 44	
	(6) 卒業論文	44
	(7) 修士論文	44
	(8) 博士論文	45
5	学内での活動	46
	(1) 委員会活動	46
	(2) 看護系教室役割分担	46
	(3) 教室内での役割分担	46
6	学会における活動	47
7	社会的活動	49
8	教室日誌	50
9	教室員名簿(2015年度)	51

1 はじめに

本学健康科学・看護学専攻修士課程における保健師教育は2年目を迎えました。新たに進学した保健師教育コース学生2名への教育を行いました。1年目の反省を踏まえて、講義と実習の連携を密にし、学びを深めると共に過密なスケジュールの負担を緩和することを試みました。今年度も、公共健康医学専攻の複数の講義を保健師教育科目として活用させていただき、実習施設においては丁寧にご指導いただきました。なお、平成26年度に初めて進学した学生1名は無事に保健師国家試験に合格しました。この2年間の課題を活かし、今後の教育をより充実させていきたいと存じます。

併せて、公衆衛生看護の実践や教育の新たな方法論を開発することをめざし、地理情報システム(GIS)やPhotovoiceの演習や実習への導入、公衆衛生看護介入の整理のためのミネソタホイールの活用可能性の検討に取り組み、学会ワークショップ等での意見交換も行ってまいりました。今後も引き続き新たなチャレンジを行っていきたいと思います。

一方、博士課程教育リーディングプログラム「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム」にも、学生が新たに2名参加しています。プログラム以外の他領域の先生方との共同研究やディスカッションも含め、研究の視野を広げられたことに感謝しています。

リーディングプログラムの御子柴直子特任助教は、本分野にも拠点を持ち、学部教育や学生の論文指導に当たりました。また、老年看護学教室と兼担の飯坂真司助教は、学部教育や実習に当たりました。二人はこの4月から新しい場で活躍することになります。蔭山正子助教、成瀬昂助教ともども、互いに協力し合って教育・研究に取り組んできました。

平成27年3月には博士課程3名、修士課程4名、卒論生2名が学位を得ました。皆様のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。

ここに平成27年度の活動報告をまとめました。教室員一同、今後も研究と教育に邁進していく所存です。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成28年4月

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻
地域看護学分野 准教授 永田智子

2 研究業績

(1) 原著・報告

Satoko Nagata, Atsushi Matsunaga, Chie Teramoto.

Follow-up study of the general and mental health of people living in temporary housing at 10 and 20 months after the Great East Japan Earthquake.

Japan Journal of Nursing Science, 12(2), 162-165, 2015.

Satoko Nagata, Kaoru Ogawa, Atsuko Taguchi, Takashi Naruse, Sachiyo Murashima, Joan Kathy Magilvy.

Promoting the use of visiting nurse services for patients discharged from hospital: Evaluation of a Japanese municipality's model project.

Home Health Care Management & Practice, 27, 47-53, 2015.

Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Hiroshige Matsumoto, Satoko Nagata.

Diseases that precede disability among latter-stage elderly individuals in Japan.

BioScience Trends, 9(4), 270-274, 2015.

Takashi Naruse, Rumiko Tsuchiya, Natsuki Yamamoto, Satoko Nagata.

Identifying Characteristics of Adults Absent from a Metabolic Syndrome Checkup in Japan Using CHAID Dendrograms and Insurance Claim Data.

Health, 7, 1841-1846, 2015.

Masako Kageyama, Keiko Yokoyama, Satoko Nagata, Sachiko Kita, Yukako Nakamura, Sayaka Kobayashi, Phyllis Solomon.

Rate of family violence among patients with schizophrenia in Japan.

Asia-Pacific Journal of Public Health, 27(6), 652-660, 2015.

Masako Kageyama, Yukako Nakamura, Sayaka Kobayashi, Keiko Yokoyama.

Validity and reliability of the Japanese version of the Therapeutic Factors Inventory-19 (TFI-19J) - A study of family peer education self-help groups.

Japan Journal of Nursing Science, 13, 135-146, 2016.

Masako Kageyama, Keiko Yokoyama, Yukako Nakamura, Sayaka Kobayashi.

Changes in Families' Caregiving Experiences through Involvement as Participants then Facilitators in a Family Peer-Education Program for Mental Disorders in Japan.

Family Process, Epub ahead of print 2 NOV 2015, DOI: 10.1111/famp.12194.

Masako Kageyama, Phyllis Solomon, Keiko Yokoyama.

Psychological distress and violence towards parents of patients with schizophrenia.

Archives of Psychiatric Nursing, Epub ahead of print 19 FEB.2016,

DOI: 10.1016/j.apnu.2016.02.003.

Naoko Mikoshiba, Noriko Yamamoto-Mitani, Kazuki Sato, Yoshinari Asaoka, Takafumi Ohki, Misato Ohata, Mitsunori Miyashita.

Validation of the Japanese version of HFS-14, a disease-specific quality of life scale for patients suffering from hand-foot syndrome.

Support Care Cancer, 23(9), 2739-2745, 2015.

Naoko Mikoshiba, Noriko Yamamoto-Mitani, Kazuki Sato, Yukari Yaju, Mitsunori Miyashita.

Relationship between self-care and hand foot syndrome specific quality of life in cancer patients.

Open journal of nursing, 6(2), 100-109, 2016.

Aya Saitoh, Akihiko Saitoh, Isamu Sato, Tomohiro Shinozaki, Satoko Nagata.

Current practices and needs regarding perinatal childhood immunization education for Japanese mothers.

Vaccine, 33(45), 6128-6133, 2015.

Mahiro Sakai, Takashi Naruse, Satoko Nagata.

Relational coordination between professionals predicts satisfaction with home visit nursing care.

Clinical Nursing Studies, 4(1), 1-5, 2016.

Mahiro Sakai, Hiroki Yanase, Atsuko Taguchi, Takashi Naruse, Satoko Nagata.

Community residents' confidence in spending end-of-life at home: a cross sectional study.

Japanese Journal of Health and Human Ecology, 81(4), 122-133, 2015.

Chie Teramoto, Satoko Nagata, Reiko Okamoto, Ruriko Suzuki, Emiko Kishi, Michie Nomura, Noriko Jojima, Masumi Nishida, Keiko Koide, Emiko Kusano, Saori Iwamoto, Sachiyo Murashima.

Identifying Residents' Health Issues Six Weeks after the Great East Japan Earthquake.

Public Health Nursing, 32(6), 654-661, 2015.

Chie Teramoto, Atsushi Matsunaga, Satoko Nagata.

Cross-sectional study of social support and psychological distress among displaced earthquake survivors in Japan.

Japan Journal of Nursing Science, 12(4), 320-329, 2015.

Hiroshige Matsumoto, Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Satoko Nagata.

Who prefers to age in place? Cross-sectional survey of middle-aged people in Japan.

Geriatrics and Gerontology International, published online DOI: 10.1111/ggi.12503, 2015.

Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Satoko Nagata.

The effects of perceived colleague nurse relational coordination and span of control on work engagement among home visiting nurses.

Japan Journal of Nursing Sciences (in printing).

Mahiro Sakai, Takashi Naruse, Satoko Nagata.

Relational coordination possibly enhance goal attainment of nursing care among home healthcare professions.

Japan Journal of Nursing Sciences. 2016 (in printing).

Natsuki Yamamoto, Chikako Honda, Satoko Nagata.

Current trends and age-based differences of unintentional injury in Japanese children.

BioScience Trends, 2016 (in printing).

Chika Tanaka, Takashi Naruse, Atsuko Taguchi, Satoko Nagata, Azusa Arimoto, Yuki Ohashi, Sachiyo Murashma.

Conformity to the neighborhood modifies the association between recreational walking and social norms among middle-aged Japanese people.

Japan Journal of Nursing Sciences. 2016 (in printing).

Takuma Kimura, Satoru Yoshie, Rumiko Tsuchiya, Syohei Kawagoe, Satoshi Hirahara, Katsuya Iijima, Toru Akahoshi, Tetsuo Tsuji.

Catheter replacement structure in home medical care settings and regional characteristics in Tokyo and three adjoining prefectures.

Geriatrics & Gerontology International 2016 (in printing).

Chie Wei-Chu, Jane M. Blazeby, Chin-Fu Hsiao, Heng-Chia Chiu, Ronnie T. Poon, Naoko Mikoshiba, et al.

Differences in health-related quality of life between European and Asian patients with hepatocellular carcinoma.

Asia-pacific journal of clinical oncology, (in printing).

蔭山正子, 大島巖, 中村由嘉子, 横山恵子, 小林清香.

精神障がい者家族ピア教育プログラムの実施プロトコル遵守に関する尺度開発：フィデリティ尺度.

日本公衆衛生雑誌, 62(4), 198-208, 2015.

蔭山正子, 横山恵子, 小林清香, 中村由嘉子.

精神障がいの家族ピア教育プログラムの質的評価—プログラム事後の自由記載の分析—.

日本看護科学会誌, 35, 43-52, 2015.

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子.

家族ピア教育プログラムを精神障がい者家族が継続実施することで得る利益—プログラム事後調査.

日本地域看護学会誌, 18(1), 28-37, 2015.

蔭山正子, 大島巖, 中村由嘉子, 横山恵子.

精神障がいの「家族による家族学習会」の主観的評価—参加家族と担当家族への事後調査から—.

精神障害とリハビリテーション, 19(2), 194-202, 2015.

山本なつ紀, 成瀬昂, 永田智子.

母親のマインドフルネスと産後の抑うつ症状の関連について.

医療の広場, 56(2), 21-25, 2016.

田口敦子, 永田智子, 成瀬昂, 栗原雄樹, 山口拓洋, 村嶋幸代.

訪問看護必要性アセスメントシート的一般化可能性および活用可能性の検討.

日本医療・病院管理学会誌, 52(2), 67-77, 2015.

柳瀬裕貴, 成瀬昂, 田口敦子, 永田智子.

終末期在宅療養の実現可能性に関する地方中核都市と郡部在住の住民の認識とその関連要因.

日本地域看護学会誌, 18(2-3), 23-32, 2015.

木村琢磨，吉江悟，土屋瑠見子，川越正平，平原佐斗司。
在宅医療における医師・訪問看護師による胃瘻交換に関する調査。
在宅医学会雑誌，17(1)，11-19，2015。

田口敦子，奥田春花，吉田和子，五十嵐ひとみ，佐藤裕子，佐々木夫起子，山内かず子，永田智子。
大学病院における退院支援スクリーニング指標の基準関連妥当性の検討。
東北大学保健学科紀要，24(1)，19-27，2015。

鈴木良美，斉藤恵美子，澤井美奈子，岸恵美子，掛本知里，中田晴美，五十嵐千代，三好智美，麻原きよみ，永田智子，森豊美，神楽岡澄。
東京都特別区における保健師学生の技術到達度に関する学生・教員・保健師による評価。
日本公衆衛生雑誌，62(12)，729-737，2015。

岩本里織，岡本玲子，小出恵子，西田真寿美，生田由加利，鈴木るり子，野村美千江，酒井陽子，岸恵美子，城島哲子，草野恵美子，齋藤美紀，寺本千恵，村嶋幸代。
東日本大震災により被災した自治体職員の被災半年後の語りに見られた身体的精神的健康に影響する苦悩を生じた状況。
日本公衆衛生看護学会誌，4(1)，21-31，2015。

錦織梨紗，永田智子，水井翠，戸村ひかり。
病棟看護師が担う退院支援係の配置の有無と病院の特徴および退院支援への取り組み状況との関係。
日本地域看護学会誌，19(1)，2016 印刷中。

二宮史織，中村由嘉子，蔭山正子，横山恵子，桶谷肇，小林清香，大島巖。
精神障害者の家族ピア教育プログラム（家族による家族学習会）が家族のエンパワメントに与える効果～プログラム実施者と受講者の効果の比較～。
精神医学，2016 印刷中。

(2) 解説

成瀬昂。
編集委員会企画連載：地域看護に活用できるインデックス，連携。
日本地域看護学会誌，18(2-3)，87-90，2015。

成瀬昂.

訪問看護師と周囲のチームワークが訪問看護ステーションの効率性に与える影響の評価.

月間地域ケアリング, 18(4), 80-82, 2016.

成瀬昂.

訪問看護の実践は学問になりえるのか?

日本在宅看護学会誌, 4(2), 10-13, 2016.

児島由利江, 永田智子.

専門性の高い看護師配置による地域包括ケア時代の新たな PFM システムの構築: 福島県立医科大学会津医療センター附属病院の取り組み.

看護管理, 25(9), 750-755, 2015.

(3) 著書

永田智子 (分担執筆).

シンプル衛生公衆衛生学 2016 (監修 鈴木庄亮). 東京: 南江堂, 2016.

7-1 地域社会と地域保健. 209-213.

永田智子 (分担執筆).

プリンシプル在宅看護学 (原礼子編著). 東京: 医歯薬出版, 2015.

第3章 地域包括ケアにおける看護の役割と機能. 25-52.

永田智子 (分担執筆).

退院支援ガイドブック「これまでの暮らし」「そしてこれから」をみすえてかかわる. (宇都宮宏子監修, 坂井志麻編集). 東京: 学研, 2015.

第1章 2 退院支援の歴史と制度的な背景. 21-25.

成瀬昂, 阪井万裕 (分担執筆).

島津明人編著, 井上彰臣, 大塚泰正, 種市康太郎, 岩田昇, 窪田和巳, 江口尚, 北岡和代, 成瀬昂, 原雄二郎, 阪井万裕, 塚田知香, 渡井いずみ.

職場のポジティブ・メンタルヘルス 現場で活かせる最新理論. 東京: 株式会社誠信書房, 2015.

第Ⅱ部 組織マネジメントへの活用

7. チームのエンゲイジメントを観察して、チームの生産性を上げる—
チームに着目した生産性向上へのアプローチ. 阪井万裕. 60-67,

8. 職場の人間関係のポイント

—気持ちの良い情報共有と心地良い距離感を. 成瀬昂. 68-76,

第Ⅳ部 生活のマネジメントへの活用

16. パートナーの理解や助けは、仕事からのリカバリーに効く!

—共働き世代が知っておくべきこと. 阪井万裕. 144-153.

(4) 報告書

成瀬昂, 辻哲夫, 飯島勝矢, 吉江悟, 永田智子, 蔭山正子, 岩本康志, 両角良子, 湯田道生, 阪井万裕, 松本博成, 土屋瑠見子, 山本なつ紀, 水井翠.

平成 25 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業.

「縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較」.

平成 27 年度総括研究報告書, 2016.

成瀬昂, 辻哲夫, 飯島勝矢, 吉江悟, 永田智子, 蔭山正子, 岩本康志, 両角良子, 湯田道生, 阪井万裕, 松本博成, 土屋瑠見子, 山本なつ紀, 水井翠.

平成 25 年度厚生労働省労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業.

「縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較」.

平成 25-27 年度総合研究報告書, 2016.

(5) シンポジウム・セミナー等

横山恵子 (代表), 蔭山正子, 飯塚壽美, 岡田久実子, 佐藤美樹子.

ワークショップ「家の中で起きる統合失調症患者の暴力の実態と援助職の役割」

第 25 回日本精神保健看護学会学術集会, 茨城県 つくば国際会議場, 2015 年 6 月 27 日-28 日.

蔭山正子, 成瀬昂, 松本博成, 飯坂真司, 御子柴直子, 永田智子.

自由集会「Photovoice の保健師・看護師教育における活用可能性を探る」

日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 岡山パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1 日-2 日.

宮澤仁 (演者), 永田智子 (座長).

ワークショップ「地域に見える化と統計解析—地域看護学への GIS の応用」

日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 岡山パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1 日-2 日.

横山恵子 (座長), 蔭山正子, 小野加津子, 岡田久実子, 千葉あき.

シンポジウム「精神障がいを持つ親への育児支援と育てられた子どもを支える支援」

リカバリー全国フォーラム 2015, シンポジウム, 東京都 帝京平成大学池袋キャンパス・本館, 2015 年 8 月 22 日.

永田智子 (演者).

ライフステージに合わせた健康づくり：高齢者に対する看護・介護の立場から
メインシンポジウム「ライフステージに合わせた健康づくり」(座長：本田純久,
永田智子).

第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015 年 11 月 4 日-6 日.

成瀬昂 (シンポジスト).

シンポジウム 1「訪問看護の実践は学問になりえるのか—訪問看護、退院支援看護、高齢者施設内看護—」

日本在宅看護学会第 5 回学術集会, 東京都 聖路加国際大学, 2015 年 11 月 22 日.

永田智子, 寺本千恵, 川上文子, 角川由香, 蔭山正子, 飯坂真司, 成瀬昂.

ワークショップ「Intervention Wheel の日本への応用—保健師活動の国際的議論に向けて—」

第 4 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 東京都 一橋大学一橋講堂, 2016 年 1 月 23 日-24 日.

村嶋幸代，佐伯和子，平野美千代，高橋香子，永田智子，二宮一枝，佐藤玉枝，赤星琴美。

ワークショップ「大学院修士課程の保健師教育を開始した大学からの報告」
第4回日本公衆衛生看護学会学術集会，東京都 一橋大学一橋講堂，2016年1月23日-24日。

斉藤恵美子，和泉比佐子，上野昌江，安齋由貴子，北岡英子，大森純子，五十嵐千代，永田智子。

ワークショップ「投稿者と査読者，編集委員の良好なコミュニケーションに向けて：論文掲載までの道程」

第4回日本公衆衛生看護学会学術集会，東京都 一橋大学一橋講堂，2016年1月23日-24日。

五十嵐歩，松本博成。

地域高齢者を支えるコンビニエンスストア：地域包括ケアにおける協働モデルの構築。

アクションリサーチ勉強会，東京都 桜美林大学，2016年1月29日。

寺本千恵。

救急外来を受診して帰宅となった高齢者の30日以内の救急外来再受診リスクとその要因—カルテレビューによる後ろ向き観察研究—。

第5回東大看護研究シンポジウム，東京都 東京大学医学部教育研究棟14階鉄門記念講堂，2016年2月6日。

永田智子。

報告テーマ1：慢性疾患のケア・尊厳ある生活を支える方法について「高齢者のケアと居住環境」

東京大学高齢社会総合研究機構 国内シンポジウム2016「ヘルシーエイジング社会をめざして」，東京都 東京大学高齢社会総合研究機構，2016年3月5日。

杉本南，角川由香，藤井文香，岡田宏子，土屋瑠見子，荻野亮吾，御子柴直子，朴孝淑，永田智子，樋口範雄，牧野篤。

高齢者の終末期に向けた意思決定支援方法の検討。

東京大学高齢社会総合研究機構 国内シンポジウム2016「ヘルシーエイジング社会をめざして」，東京都 東京大学高齢社会総合研究機構，2016年3月5日。

今枝秀二郎，松本博成，内山瑛美子，田中友規，金晃敏，谷口紗貴子，三木康平，吉田真悟，長木美緒，鈴木智絵，付雨菲，西野亜希子，孫輔卿。

弱らない／弱っても住み続けられる住環境のデザイン。

東京大学高齢社会総合研究機構 国内シンポジウム 2016「ヘルシーエイジング社会をめざして」，東京都 東京大学高齢社会総合研究機構，2016年3月5日。

松本博成，内山瑛美子，今枝秀二郎，須藤誠，福井康貴。

GLAFS 学生主体パネルディスカッション「GLAFS 学生は、如何なる超高齢社会をつくりたいのか」。

東京大学高齢社会総合研究機構 国内シンポジウム 2016「ヘルシーエイジング社会をめざして」，東京都 東京大学高齢社会総合研究機構，2016年3月5日。

角川由香，窪田章宏，岡谷泰佑，小南友里，土屋瑠見子，小嶋泰平，張明穎，金子と樹，中川康之，Ziaratnia Sayyed Ali，吉永葉月，道家未央，後藤大地，蛭川沙也加，Chand Krishant，今枝秀二郎，石井絢子，鶴田将大，木下由貴，鈴木啓太，大方潤一郎，田中敏明，飯島勝矢，西野亜希子，三浦貴大。

高齢社会を支援するロボティクス。

東京大学高齢社会総合研究機構 国内シンポジウム 2016「ヘルシーエイジング社会をめざして」，東京都 東京大学高齢社会総合研究機構，2016年3月5日。

(6) 学会発表

吉江悟，土屋瑠見子，野口麻衣子，小林唯浩，松本直樹，辻哲夫。

後期高齢者における在宅患者訪問診療料算定状況と要介護度等との関連。

第17回在宅医学会もりおか大会，岩手県 マリオス盛岡地域交流センター，2015年4月25日-26日。

野口麻衣子，山中崇，土屋瑠見子，平野央，玉井杏奈，飯島勝矢。

医学部学生に対する在宅医療を中心とした地域医療学実習の効果に関する検討—キャリア選択上の在宅医療への関心—。

第17回在宅医学会もりおか大会，岩手県 マリオス盛岡地域交流センター，2015年4月25日-26日。

Rumiko Tsuchiya, Jungsu Lee, Etsuko Watanabe, JongSun Park, Atsuko Fukahori,
Katsumi Mori, Kiyoshi Kawakubo.

Socio-demographic characteristics and daily physical activity among rural Japanese residents with back pain and knee pain.

World confederation of Physical Therapy congress 2015, Singapore, May 1-4, 2015.

菊川美帆, 寺本千恵.

ある建設業企業の喫煙者・禁煙希望者の特性.

第 88 回日本産業衛生学会, 大阪府 グランフロント大阪, 2015 年 5 月 13 日-16 日.

飯坂真司, 永田智子, 真田弘美.

地域在住高齢者の栄養状態, 栄養素摂取量と皮膚脆弱性の関連.

第 29 回日本老年学会総会合同大会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 6 月 12 日-14 日.

土屋瑠見子, 吉江悟, 山中崇, 永田智子, 飯島勝矢.

訪問リハビリテーションサービス提供者における共感的態度—臨床経験と勤務状況に着目した探索的研究—.

第 29 回日本老年学会総会合同大会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 6 月 12 日-14 日.

木村琢磨, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司.

在宅医療における医師・訪問看護師による胃瘻交換に関する調査.

第 6 回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 茨城県 つくば国際会議場, 2015 年 6 月 13 日-14 日.

Haruko Yokoyama, Anna Tamai, Naoki Kusumoto, Rumiko Tsuchiya, Keiko Sakurai,
Takashi Yamanaka.

Medication use and comorbidities among those in the hospital rehabilitation unit with fractures.

第 6 回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 茨城県 つくば国際会議場, 2015 年 6 月 13 日-14 日.

楠本直紀, 玉井杏奈, 横山晴子, 渡邊紋子, 藤原拓也, 土屋瑠見子, 櫻井桂子, 山中崇.

高齢転倒骨折患者に対する住環境調査の必要性を判断する要因の検討.

第6回プライマリ・ケア連合学会学術大会, 茨城県 つくば国際会議場, 2015年6月13日-14日.

蔭山正子, 横山恵子.

統合失調症患者から家族が受ける身体的暴力: 発生率と続柄との関連.

第25回日本精神保健看護学会学術集会, 茨城県 つくば国際会議場, 2015年6月27日-28日.

横山恵子, 蔭山正子.

統合失調症患者の家族体験がきょうだいに与えた影響—生き方への変化と社会に望むこと.

第25回日本精神保健看護学会学術集会, 茨城県 つくば国際会議場, 2015年6月27日-28日.

永田智子, 成瀬昂.

後期高齢者の退院直後における介護保険サービスの利用状況.

第20回日本在宅ケア学会, 東京都 一橋大学一橋講堂, 2015年7月18日-19日.

成瀬昂, 永田智子.

訪問介護・看護利用開始時の要介護度の疫学的記述と市町間比較.

第20回日本在宅ケア学会, 東京都 一橋大学一橋講堂, 2015年7月18日-19日.

阪井万裕, 成瀬昂, 永田智子.

訪問看護師における職種間連携に関連する職場環境要因の明確化.

第20回日本在宅ケア学会, 東京都 一橋大学一橋講堂, 2015年7月18日-19日.

永田智子, 松永篤志.

東日本大震災における高齢者の移動能力と健康度自己評価への仮設住宅住居の影響.

日本地域看護学会第18回学術集会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015年8月1日-2日.

成瀬昂, 松本博成, 阪井万裕, 永田智子.

GIS を用いた市町の訪問看護アクセシビリティ指標と住民の訪問看護利用の関連.
日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1
日-2 日.

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子, 小林清香.

精神障がい者のきょうだいになることで経験する困難と重大な人生の選択への影
響.

日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1
日-2 日.

松本博成, 成瀬昂, 蔭山正子, 永田智子.

地域アセスメントにおけるフォトボイス (photovoice) の導入: 文献レビュー.
日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1
日-2 日.

戸村ひかり, 永田智子, 清水準一.

「退院支援看護師」と「退院支援担当の病棟看護師」の実践状況—全国調査の実
施および先行調査結果との比較検討—.

日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1
日-2 日.

赤星琴美, 佐伯和子, 平野美千代, 高橋香子, 永田智子, 蔭山正子, 二宮一枝,
佐藤玉枝, 村嶋幸代.

保健師教育における技術項目と卒業時到達度調査 (第 1 報) —保看統合大学と保
健師選択大学の違い—.

日本地域看護学会第 18 回学術集会, 神奈川県 パシフィコ横浜, 2015 年 8 月 1
日-2 日.

Satoko Nagata, Takashi Naruse, Hiroshige Matsumoto.

Continuity of care after discharge from a hospital that is within or beyond the patients'
living area.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National
University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Takashi Naruse, Hiroshige Matsumoto, Aiko Tagawa, Mahiro Sakai, Satoko Nagata.

Are service accessibility and relational coordination between community physicians and care managers associated with home visiting nursing service utilization?

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Masako Kageyama, Satoko Nagata, Taeko Shimazu, Atsuko Taguchi, Kathy Magilvy.

Analogy patterns of public health nurses in department transfers.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Mahiro Sakai, Yukari Nagami, Takashi Naruse, Satoko Nagata.

Interdisciplinary Relational Coordination impacts Clients' Goal Attainment: Assessed by Home Care Nurses.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Natsuki Yamamoto, Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Satoko Nagata.

Impact of mother's mindfulness and age on state anxiety among mothers at one month after childbirth.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Natsuki Yamamoto, Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Aiko Tagawa, Chikako Honda, Satoko Nagata.

Impact of mother's mindfulness and age on state anxiety among mothers at one month after childbirth in Japan.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Hiroshige Matsumoto, Takashi Naruse, Mahiro Sakai, Satoko Nagata.

The need for nursing homes at the municipality level in Japan.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Midori Mizui, Masako Kageyama, Naoko Mikoshiba, Keiko Yokoyama, Kathy Magilvy, Satoko Nagata.

The Meaning of Discharge Planning for Nurses in Palliative Care Unit.

The 6th International Conference on Community Health Nursing, Seoul National University Cultural Convention Center, Seoul, South Korea, August 19-21, 2015.

Naoko Mikoshiba, Hiroko Okada, Rumiko Tsuchiya, Fumika Fujii, Aiko Okuyama, Minami Sugimoto, Toshifumi Yamaguchi, Mika Sato, Satoko Nagata, Norio Higuchi.

Development of decision making tool for advance care planning in Japan.

International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/ Oceania 2015, Cheng Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

Rumiko Tsuchiya, Hiroko Okada, Minami Sugimoto, Fumika Fujii, Aiko Okuyama, Naoko Mikoshiba, Ryogo Ogino, Ryoko Hatanaka, Satoko Nagata, Norio Higuchi.

Family caregiving experience and advance directives.

International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/ Oceania 2015, Cheng Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

Ryoko Hatanaka, Rumiko Tsuchiya, Hiroko Okada, Minami Sugimoto, Fumika Fujii, Aiko Okuyama, Naoko Mikoshiba, Osamu Nishigami, Satoko Nagata, Norio Higuchi.

A comparative study of the written instruction about medical care and the asset.

International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/ Oceania 2015, Cheng Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

Hiroko Okada, Rumiko Tsuchiya, Fumika Fujii, Minami Sugimoto, Aiko Okuyama, Naoko Mikoshiba, Ryogo Ogino, Osamu Nishigami, Satoko Nagata, Norio Higuchi.

Attitudes, and Behavior Regarding Advance Directives among Japan's Elderly.

International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/ Oceania 2015, Cheng Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

Fumika Fujii, Aiko Okuyama, Hiroko Okada, Rumiko Tsuchiya, Minami Sugimoto, Naoko Mikoshiba, Ryoko Hatanaka, Atsushi Makino, Satoko Nagata, Norio Higuchi.

Content analysis of factors behind changes in elderly people's views of advance directives.

International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/ Oceania 2015, Cheng Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

Minami Sugimoto, Aiko Okuyama, Hiroko Okada, Fumika Fujii, Rumiko Tsuchiya, Naoko Mikoshiba, Osamu Nishihami, Atsushi Makino, Satoko Nagata, Norio Higuchi.

Factors that inhibit implementation of advance directives among elderly residents of K City. International Association of Gerontology and Geriatrics Asia/ Oceania 2015, Cheng Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

Maiko Noguchi-Watanabe, Takashi Yamanaka, Keiko Sakurai, Anna Tamai, Rumiko Tsuchiya, Hisashi Hirano, Satoru Yoshie, Yoshiko Matsumoto, Katsuya Iijima, Masahiro Akishita.

A review of home care in Asia.

International Association of Gerontology and Geriatrics Asia / Oceania 2015, Chiang Mai, Thailand, October 19-22, 2015.

成瀬昂, 松本博成, 阪井万裕, 土屋瑠見子, 山本なつ紀, 永田智子.

市町村レベルの訪問看護供給構造の可視化の試み (2) 構造の可視化と妥当性の検討.

第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015 年 11 月 4 日 -6 日.

飯坂真司, 永田智子, 真田弘美.

地域高齢者に対する低栄養スクリーニング手法の検討: 基本チェックリストと MNA の比較.

第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015 年 11 月 4 日 -6 日.

寺本千恵, 茂寿枝, 永田智子.

救急外来受診後に帰宅した患者の中で年に複数回受診する患者像: 年齢グループ別の検討.

第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎新聞文化ホール, 2015 年 11 月 4 日 -6 日.

松本博成, 成瀬昂, 阪井万裕, 土屋瑠見子, 山本なつ紀, 永田智子.

市町村レベルの訪問看護供給構造の可視化の試み (1) アクセシビリティ指標の開発.

第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015 年 11 月 4 日 -6 日.

石崎達郎, 寺本千恵, 光武誠吾.

後期高齢者を対象とする健康診査受診者における慢性疾患の状況.

第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎新聞文化ホール, 2015年11月4日-6日.

岩崎りほ, 有本梓, 蔭山正子, 永田智子.

児童虐待予防における市区町村保健師の専門的な役割—保健師と関係者へのインタビューによる分析—.

第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015年11月4日-6日.

吉江悟, 松本佳子, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫.

「在宅医療推進のための多職種連携研修会」開業医の受講1年後の診療報酬算定状況.

第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015年11月4日-6日.

松本佳子, 吉江悟, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 山中崇, 飯島勝矢, 辻哲夫.

「在宅医療推進のための多職種連携研修会」受講者の職種間連携活動の変化.

第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015年11月4日-6日.

飯島勝矢, 吉江悟, 松本佳子, 土屋瑠見子, 川越正平, 平原佐斗司, 大西弘高, 山中崇, 辻哲夫.

「在宅医療推進のための多職種連携研修会」受講者の反応および意識・知識・実践の変化.

第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015年11月4日-6日.

黄銀智, 目麻里子, 長谷田真帆, 松本博成, 安藤絵美子, 麦山亮太, 木全真理, 福井康貴.

経過的視点からみる要介護者の在宅療養継続要因の可視化の提案.

第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015年11月4日-6日.

鈴木良美, 澤井美奈子, 斉藤恵美子, 岸恵美子, 五十嵐千代, 中田晴美, 掛本知里, 永田智子, 麻原きよみ.

自治体と大学の協働による先駆的選択制実習の評価 学生の実習体験項目の変化.
第 74 回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015 年 11 月 4 日-6 日.

Hiroshige Matsumoto, Emiko Uchiyama, Shingo Yoshida, Kyoungmin Kim, Kouhei Miki, Bokyoung Son, Akiko Nishino.

Designing built environments to prevent falls, fall-related fractures, and post-fall home confinement.

GSA ORLANDO 2015, 68th Annual Scientific Meeting of The Gerontological Society of America, Orlando, the United States of America, November 18-22, 2015.

Emiko Uchiyama, Hiroshige Matsumoto, Marina Hamada, Mio Choki, Cchie Suzuki, Yufei Fu, Akiko Nishino.

Falling, fractures, and changing lifestyles for elderly Japanese: A qualitative exploratory study.

GSA ORLANDO 2015, 68th Annual Scientific Meeting of The Gerontological Society of America, Orlando, the United States of America, November 18-22, 2015.

Yoshiko Matsumoto, Satoru Yoshie, Rumiko Tsuchiya, Syohei Kawagoe, Satoshi Hirahara, Hirotaka Onishi, Takashi Yamanaka, Katsuya Iijima, Tetsuo Tsuji.

Development of a Homecare Interdisciplinary Team Training Program for Health Care Professionals in Japan.

GSA ORLANDO 2015, 68th Annual Scientific Meeting of The Gerontological Society of America, Orlando, the United States of America, November 18-22, 2015.

永田智子, 錦織梨紗, 戸村ひかり, 田口敦子, 鷺見尚己.

外来における在宅療養支援に関する研究の現状: 文献レビュー.

第 35 回日本看護科学学会学術集会, 広島県 広島国際会議場, 2015 年 12 月 5 日-6 日.

阪井万裕, 成瀬昂, 永田智子.

専門職間の連携のしやすさが利用者の目標達成度に与える影響: 訪問看護師による受け持ち利用者毎の評価. 示説.

第 35 回日本看護科学学会学術集会, 広島県 JMS アステールプラザ, 2015 年 12 月 5 日-6 日.

寺本千恵, 横田慎一郎, 角川由香, 前田明里, 永田智子.

救急外来に年間5回以上の受診を繰り返す患者の特徴：年齢グループ別の検討。

第35回日本看護科学学会学術集会，広島県 広島国際会議場，2015年12月5日-6日。

蔭山正子。

親が統合失調症本人から受ける暴力に対処するプロセス。

第4回日本公衆衛生看護学会学術集会，東京都 一橋大学一橋講堂，2016年1月23日-24日。

飯坂真司, 永田智子。

地域高齢者のスキンプレイル予防に向けた生活リスクアセスメントツール作成の試み。

第4回日本公衆衛生看護学会学術集会，東京都 一橋大学一橋講堂，2016年1月23日-24日。

中村由嘉子, 蔭山正子, 横山恵子, 小林清香, 飯塚壽美, 岡田久実子, 佐藤美樹子, 藤井千代。

統合失調症患者本人から家族が受ける暴力への対処の実態。

第35回日本社会精神医学会，岡山県 岡山コンベンションセンター，2016年1月28日-29日。

Chie Teramoto, Susumu Nakajima, Shinichirou Yokota, Satoko Nagata.

Risk factors for a revisit 30 days after discharge from the emergency department in Japan: A retrospective cohort study of elderly adults.

The 19th East Asian Forum of Nursing Scholars: EAFONS. Chiba Makuhari Messe, March 14-15, 2016.

Natsuki Yamamoto, Chikako Honda, Satoko Nagata.

Differences in factors associated with unintentional injury in a child and the mother's preventive behavior according to the child's age.

The 19th East Asian Forum of Nursing Scholars: EAFONS. Chiba Makuhari Messe, March 14-15, 2016.

蔭山正子, 横山恵子, 中村由嘉子, 小林清香, 藤井千代。

統合失調症患者の親が受ける身体的暴力に関連する要因。

第11回日本統合失調症学会，群馬県 ベイシア文化ホール，2016年3月25日-26日。

蔭山正子，横山恵子，中村由嘉子，小林清香，藤井千代。

統合失調症患者から親に向かう暴力と親が抱く死の考え。

第 11 回日本統合失調症学会，群馬県 ベイシア文化ホール，2016 年 3 月 25 日-26 日。

蔭山正子，横山恵子，中村由嘉子，小林清香，藤井千代。

精神的健康度と統合失調症患者の親に向かう暴力。

第 11 回日本統合失調症学会，群馬県 ベイシア文化ホール，2016 年 3 月 25 日-26 日。

蔭山正子，川辺慶子，横山恵子，桶谷肇，大島巖，中村由嘉子，小林清香，綾部小百合，飯塚壽美，岡田久実子，柏木彰，倉澤政江，佐藤美樹子，永野昭二，貫井信夫，原晴美，米倉令二。

家族ピア教育プログラム「家族による家族学習会」の精神科病院への導入：普及研究。

第 11 回日本統合失調症学会，群馬県 ベイシア文化ホール，2016 年 3 月 25 日-26 日。

(7) 講演等

蔭山正子（講師）。

精神障がい者から家族が受ける暴力—閉ざされた家—。

東京大学臨床死生学・倫理学研究会。

東京都 東京大学文学部，2015 年 5 月 13 日。

蔭山正子（講師）。

家族による家族学習会とは。

精神障害を持つ親に育てられた方のための家族による家族学習会セミナー in 東京。

東京都 東京大学医学部教育研究棟，2015 年 5 月 16 日。

蔭山正子（講師）。

大学院修士課程公衆衛生看護学特論 I 「公衆衛生看護領域のグループ支援の研究の動向と実際」。

東京都 聖路加国際大学，2015 年 5 月 29 日。

蔭山正子（講師）。

精神疾患のある妊婦・母親への支援～保健師の立場から～。

母子保健活動における児童虐待予防研修会。

母子愛育会。

東京都 日本子ども家庭総合研究棟，2015年6月26日。

蔭山正子（講師）。

セルフヘルプ・グループに関する研究—精神障害者家族会を中心として—。

東京大学医学系研究科家族看護学分野研究会。

東京都 東京大学医学部研究棟第5セミナー室，2015年6月26日。

永田智子（講師）。

退院支援と医療機関における地域連携体制の構築の実際。

自治医科大学 地域看護管理方法Ⅰ。

東京都 東京大学医学部地域看護学教室・東京大学医学部附属病院，2015年6月29日。

永田智子（講師）。

自治体における組織横断的な連携について。

平成27年度 保健師中央会議。

東京都 中央合同庁舎第5号館低層棟2階講堂，2015年7月23日。

永田智子（講師）。

平成27年度東京都退院支援強化研修第1回 7日目。

東京都 東京都看護協会研修室，2015年8月25日。

蔭山正子（講師）。

GISを用いた地域診断。

第30回全国保健師教育機関協議会夏季教員研修会。

愛知県 ホテルルブラ王山，2015年8月28日。

蔭山正子（講師）。

「家族による家族学習会」の特徴と効果—研究結果を踏まえた報告—。

北海道精神障害者家族会連合会主催 研修会。

北海道 札幌市クリスチャンセンター，2015年9月12日。

蔭山正子（講師）.

「家族による家族学習会」の効果—研究報告—.

地域精神保健福祉機構主催 家族による家族学習会セミナー.

福岡県 JR 博多シティ, 2015 年 9 月 29 日.

阪井万裕.

科学技術インタープリター養成プログラム修了研究中間発表会.

東京都 東京大学駒場 I キャンパス アドミニストレーション棟 402 号室, 2015

年 9 月 4 日.

成瀬昂（講師）.

より良い記録で素敵なコミュニケーションを.

宮崎市介護支援専門員連絡協議会 10 月定例会.

宮崎県 宮崎市民プラザ, 2015 年 10 月 14 日.

永田智子（講師）.

退院支援に関する研究：現状と課題.

演習「療養生活支援」.

北海道 北海道大学, 2015 年 11 月 12 日.

阪井万裕（講師）.

大学の学部・学科紹介（大学セミナー）.

「手をかざして目でみて そして、護る！」.

大阪 大阪府立北野高等学校, 2015 年 11 月 14 日.

成瀬昂（講師）.

歩けば課題が見えてくる 災害時を想定した地域診断演習のご紹介.

平成 27 年度文京区アクティブ介護 講演会.

東京都 文京シビックセンタースカイホール, 2015 年 11 月 18 日.

永田智子（講師）.

平成 27 年度東京都退院支援強化研修第 2 回 7 日目.

東京都 東京都看護協会研修室, 2015 年 11 月 30 日.

阪井万裕.

訪問看護師と訪問介護士の連携と、在宅終末期ケアの効果.

第 22 回ヘルスリサーチフォーラム, ファイザーヘルスケアリサーチ発表会.

東京都 ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 2015 年 11 月 30 日.

土屋瑠見子（非常勤講師）.

慈恵医大附属柏看護専門学校授業 在宅看護方法論 2「移動が困難な人の援助」.
千葉県 慈恵柏看護専門学校, 2015年12月16日.

成瀬昂（講師）.

レセプトデータ解析の成果報告.
平成26年度福井県 ジェロントロジー研究成果報告会.
福井県 福井県国際交流会館, 2016年1月21日.

阪井万裕.

科学技術インタープリター養成プログラム修了研究最終発表会.
21 Komaba Center for Educational Excellence.
東京都 東京大学駒場Iキャンパス, 2016年2月15日.

成瀬昂（講師）.

在宅医療・介護社会資源調査結果報告.
第5回在宅医療従事者研修会.
福岡県 久留米市久留米商工会館5階大会議室, 2016年2月17日.

成瀬昂（講師）.

在宅医療・介護社会資源調査結果報告.
第1回在宅医療介護連携推進会議.
福岡県 久留米市役所 会議室, 2016年2月18日.

蔭山正子（講師）.

家庭における暴力の解決に向けて.
埼玉県精神障がい者家族のピアサポート相談研修会.
埼玉県 埼玉県障害者交流センター, 2016年2月26日.

蔭山正子（講師）.

精神障がい者の家族が受ける暴力を防ぐために.
家族依存から社会的支援に向けて進める会.
和歌山県 和歌山県民交流プラザ, 2016年2月27日.

蔭山正子（講師）.

精神障害者の家庭で起きる暴力ー私たち支援者が向き合うべきこと.
福島県 いわき市総合保健福祉センター, 2016年3月10日.

(8) その他

永田智子 (書評).

地域連携論—医療・看護・介護・福祉の協働と包括的支援—.

日本在宅ケア学会誌, 19(1), 90, 2015.

阪井万裕.

国際混合研究法学会 アジア地域会議／第1回日本混合研究法学会 (2015年9月19-20日) における Workshop1 参加報告. 日本混合研究法学会 (JSMMR) ニュースレター第1号.

(9) 受賞

蔭山正子.

平成27年度日本公衆衛生看護学会学術奨励賞 (優秀論文部門).

精神障がい者家族会の組織発展と家族ピア教育プログラム「家族による家族学習会」との関連.

日本公衆衛生看護学会誌, 3(1), 31-39, 2014.

蔭山正子.

2015年度日本公衆衛生学会日本公衆衛生雑誌編集委員会 ベストレビュー賞.
第74回日本公衆衛生学会総会, 長崎県 長崎ブリックホール, 2015年11月4日-6日.

蔭山正子.

第4回日本公衆衛生看護学会学術集会最優秀ポスター賞.

親が統合失調症本人から受ける暴力に対処するプロセス.

第4回日本公衆衛生看護学会学術集会, 東京都 一橋大学一橋講堂, 2016年1月23日-24日.

(10) 国際交流

Kathy Magilvy 博士 (コロラド大学名誉教授) 滞在 (研究ミーティング) 2015年9月17日-18日.

武村雪絵, 永田智子.

英国サリー大学, ミドルセックス大学, 英国看護協会視察 (大学・大学院における看護教育等について), 2016年2月29日-3月4日.

3 研究活動

(1) 地域看護学勉強会

日程（毎週火曜日） 前期 2015/4/7～7/14 後期 2015/9/15～2016/3/8

教室員の研究計画および最新研究トピックのディスカッションを目的として行った。

参加者：永田，成瀬，蔭山，御子柴，齋藤，阪井，土屋，寺本，山本，錦織，田川，本田，松本，角川，川上，前田，茂。

教科書：なし（配布資料のみ）

日程	担当者	内容	話題提供
前期			
4月7日	(火) 土屋・成瀬	オリエンテーション	—
4月14日	(火) 田川・本田	修士論文進捗	平成27年度 介護報酬改定
4月21日	(火) 山本・土屋 松本	Journal & Critique 修士論文進捗	待機児童解消 加速化プラン
4月28日	(火) 茂・寺本 前田・永田	Journal & Critique	少子化社会対策大綱
5月12日	(火) 川上・成瀬 土屋	Journal & Critique 修士論文進捗	平成26年度救急業務のあり方に関する検討会
5月19日	(火) 角川・山本 寺本	Journal & Critique 博士論文進捗	ストレスチェック制度
5月26日	(火) 田川・本田	修士論文進捗	宿泊型新保健指導(スマートステイ)プログラム
6月2日	(火) 錦織	修士論文進捗	お泊りデイ規制
6月9日	(火) 松本 山本	修士論文進捗 博士論文研究計画	—
6月16日	(火) 阪井・前田 御子柴・茂	Journal & Critique	保健医療 2035
6月23日	(火) 土屋・川上 寺本・角川	Journal & Critique	日本版 CCRC 構想
6月30日	(火) 田川・錦織 阪井	質問紙相談 博士論文進捗	ネウボラ事業
7月7日	(火) 前田・茂 齋藤	修士論文研究計画 博士論文進捗	障害福祉サービス等 報酬改定

7月14日	(火)	川上・角川 阪井・山本・ 松本	修士論文研究計画 ICCHNR 発表予行	パートナーシップ ナーシング (PNS)
後期				
9月15日	(火)	山本 川上	Journal & Critique	糖尿病重症化予防 保健指導
9月29日	(火)	松本 角川	修士論文進捗 Journal & Critique	日本看護協会 重点政策・事業
10月6日	(火)	寺本・阪井	博士論文進捗	がん患者就労支援
10月13日	(火)	本田 前田	修士論文進捗 修士論文研究計画	ケアプランに 自己負担
10月20日	(火)	田川 茂	修士論文進捗 修士論文研究計画	カジノ型デイサービスの 規制について
10月27日	(火)	錦織 斎藤	修士論文進捗 博士論文進捗	看護学における 歴史的研究について
11月10日	(火)	角川・川上	修士論文研究計画	高齢化と健康に関するワ ールドレポート
11月17日	(火)	中村	修士論文研究計画	医療事故調査制度
11月24日	(火)	松下 山本	卒業論文進捗 博士論文進捗	—
12月1日	(火)	田川 土屋	卒業論文進捗 博士論文進捗	—
12月8日	(火)	錦織・松本	修士論文初稿	—
12月15日	(火)	田川・本田	修士論文初稿	—
12月22日	(火)	松本・錦織・ 本田	修士論文の自主相 談	—
1月5日	(火)	松本・錦織・ 本田	修士論文原稿	—
1月12日	(火)	松本・錦織・ 本田	修士論文発表予行	—
1月19日	(火)	松本・錦織・ 本田	修士論文発表予行	—
1月26日	(火)	前田・茂	Journal & Critique	—
2月2日	(火)	中村・松下	卒業論文発表予行	—
2月16日	(火)	山本 角川	博士論文進捗 修士論文研究計画	—

2月23日	(火)	寺本 川上	博士論文進捗 修士論文研究計画	高齢者就労・シルバー人材 センター動向
3月1日	(火)	茂 松本	修士論文研究計画 博士論文研究計画	—
3月8日	(火)	土屋 前田	博士論文進捗 修士論文研究計画	—

(2) 研究会

	日程	講師およびテーマ（敬称略）
第 219 回	2015 年 4 月 17 日	永田智子（東京大学医学部健康総合科学科 地域看護学教室 准教授） 「A 県全体の縦断的レセプトデータを用いた解析の紹介」
第 220 回	5 月 22 日	今村晴彦（東邦大学医学部 社会医学講座衛生学分野 助教） 「地域看護とソーシャル・キャピタルの付き合い方に関する 一考察」
第 221 回	6 月 22 日	吉江悟（一般財団法人オレンジクロス 研究員） 「柏市の在宅医療・介護連携と課題」
第 222 回	7 月 13 日	深谷安子（関東学院大学 在宅看護学 教授） 「高齢者へのケアとしてのコミュニケーション」
第 223 回	10 月 16 日	島田陽子（厚生労働省 健康局健康課 保健指導室長） 「地域保健の動向と保健師の活動」
第 224 回	2016 年 2 月 16 日	三浦貴大（東京大学 高齢社会総合研究機構 助教） 「障害者・高齢者の共助を支援する情報共有システム」

(3) 研究プロジェクト

成瀬昂，辻哲夫，飯島勝矢，永田智子，蔭山正子，岩本康志，両角良子，湯田道生。

平成 25-27 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業）。
縦断的レセプトデータを用いた医療・介護サービス利用状況の地域間比較。

堀田聡子，西村周三，山岸暁美，野口麻衣子，成瀬昂，吉江悟。
平成 27 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）。
統合ケアを試行した新たな地域包括ケアステーションに関する研究。

永田智子，鷺見尚己，戸村ひかり，田口敦子。
平成 26-28 年度科学研究費助成事業 基盤研究（B）
外来受診患者の潜在的在宅ケアニーズの早期把握および対処方策の開発

成瀬昂。
平成 26-28 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）若手研究（A）
訪問看護師と周囲のチームワークが訪問看護ステーションの効率性に与える影響の評価。

蔭山正子，大嶋巖，横山恵子。
平成 25-27 年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤（C）
精神障害者家族ピア教育プログラムの波及効果とシステムの評価。

御子柴直子。
平成 25-26 年度科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）。
在宅療養の質向上を目指した高齢がん患者のための化学療法導入支援プログラムの開発。

阪井万裕。
平成 27 年度科学研究費助成事業特別研究員奨励費。
研究課題名「在宅医療介護サービス専門職間の連携がケア目標の達成度を与える影響とそのプロセス」

田川愛子。
平成 27 年度公益財団法人政策医療振興財団研究助成金。
幼児を養育する母親を対象にした育児生活資源の配置状況と育児ストレスとの関連性の評価。

本田千可子.

平成 27 年度公益財団法人政策医療振興財団研究助成金.

家の中でおこる子どもの不慮の事故による傷害の関連要因についての検討～子どもの生活習慣との関連を中心に～.

(4) 教室内勉強会

博士論文勉強会（2015年4月14日～2016年2月18日）

学位審査を控えた博士課程学生が集まることで、より客観的・批判的に博士学位論文を吟味し、論文内容のさらなる質の向上を目指して行った。

参加者：齋藤，阪井，寺本，土屋，山本，米沢（母性・助産学）。

教科書：STROBE 声明、CONSORT 声明、博士学位審査にかかる書類（医学系研究科大学院発行）、看護研究（バーンズ&グローブ）

日程	内容	担当者
4月14日（火）	緒言、分析結果の提示、解釈について進捗報告 CONSORT 声明を用いたクリティーク：研究の「方法」に着目して進捗報告・共有	阪井 米澤
5月19日（火）	緒言、目的、方法の進捗報告 質的フェーズの方法に関する相談 分析の進捗報告	阪井 米澤
6月23日（火）	量的フェーズの目標分類に関する相談 緒言～方法までの PowerPoint 資料の共有 緒言～方法までの進捗共有 事前研究の分析結果の報告：日本公衆衛生学会、日本看護科学学会への登録演題内容	阪井 米澤 齋藤 寺本
7月14日（火）	目標分類別の分析結果報告：交互作用効果の検証 分析結果の共有、分析方法・内容の相談 今後のスケジュールの共有 研究計画の相談：調査対象・時期および Feasibility	阪井 米澤 寺本
8月25日（火）	量的フェーズの初稿共有 博士学位論文題目届に関する情報提供 アウトカム指標の妥当性検証の結果報告 アウトカム指標の分析報告 分析方法の相談：ANOVA、マルチレベル分析 分析中間報告、分析対象データに関する相談	阪井 米澤 齋藤 寺本
9月29日（火）	質的フェーズの結果報告 分析方法相談 分析結果報告、結果の表示の仕方について相談	阪井 米澤 齋藤
10月21日（火）	初稿会 博士論文初稿輪読・相談 スケジュールの確認	阪井 米澤 齋藤

11月24日(火)	口頭試問学位審査会	予行1回目	阪井
1月12日(火)	口頭試問学位審査会	予行2回目	米澤
1月19日(火)	口頭試問学位審査会	予行3回目	齋藤
2月18日(木)	博士学位審査終了後の事務手続きの共有		阪井 齋藤

4 教育活動

(1) 学部講義

1) 地域看護学 4年前期 (2単位)

担当： 永田智子・蔭山正子・成瀬昂・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

期間： 2015年4月6日～5月13日 月曜日 13:00～16:20,
水曜日 8:40～12:00

日程	講義題目	担当
4月6日 (月)	地域看護学総論、災害支援	永田
4月13日 (月)	成人保健活動	村山
4月15日 (水)	国際的視点からみた日本の保健師活動	渋井
4月20日 (月)	難病支援	小川
4月22日 (水)	母子保健活動	蔭山・木内
4月27日 (月)	感染症保健活動	岩下・明石
5月13日 (水)	精神保健活動、地域看護学総括	永田・蔭山

講師 明石真理子／都庁感染症対策課エイズ係
岩下裕子／東京都健康安全研究センター・健康危機管理情報課 疫学情報係
小川一枝／東京都医学総合研究所・難病医療専門員
木内恵美／文京区保健サービスセンター・保健師
渋井優／日本看護協会
村山亜矢子／コニカミノルタ株式会社八王子健康管理センター・保健師

2) 在宅看護論 3年後期 (2単位)

担当：永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

期間：2015年10月15日～12月3日 木曜日 13:00～16:20

日程	講義題目	担当
10月15日 (木)	介護保険制度について	永田・成瀬
10月22日 (木)	ケアマネジメント(演習)	成瀬
10月29日 (木)	訪問看護について	角田・成瀬
11月12日 (木)	地域包括ケア・介護予防について	永田
11月19日 (木)	小児の訪問看護と行政	平原
11月26日 (木)	地域包括ケア・介護予防について	永田・成瀬
12月3日 (木)	退院支援について	永田・鈴木

講師 角田直枝／茨城県中央病院 茨城県地域がんセンター 看護局長
鈴木樹美／東京大学医学部附属病院地域医療連携部 看護師長
平原優美／あすか山訪問看護ステーション

3) 生きることを支える科学：看護学の最先端

対象：駒場学生

期日：2015年6月25日

内容：集団の健康を支える (永田)

4) 健康総合科学概論

対象：健康総合科学科 2年生

期日：2015年12月14日

内容：地域看護学一個と集団を看護する一 (永田)

(2) 学部実習

[2年生] 健康支援実習

期間 : 2015年9月14日(月)～10月26日(月) 毎週月曜日
実習報告会 : 2015年10月26日(月)
実習施設 : 文京昭和高齢者在宅サービスセンター (2名)
文京大塚高齢者在宅サービスセンター (3名)
文京本郷高齢者在宅サービスセンター (2名)

[4年生] 在宅看護論実習

期間 : 2015年6月29日(月)～7月10日(金)
実習報告会 : 2015年7月10日(金)
実習施設 :

①退院支援部署 (1日)

東京大学医学部附属病院・地域医療連携部 (5名)
三井記念病院・退院支援室 (6名)

②訪問看護ステーション (8日)

小石川医師会訪問看護ステーション (3名)
訪問看護ステーションけせら (2名)
龍岡訪問看護ステーション (1名)
(株)ケアーズ白十字訪問看護ステーション (2名)
上野訪問看護ステーション (2名)
浅草医師会訪問看護ステーション (1名)

[4年生] 地域看護学実習 I

期間 : 2015年8月26日(水)
実習施設 : 富士電機(株) 健康管理センター

[4年生] 地域看護学実習

期間 : 2015年11月30日(月)～12月11日(金)
実習報告会 : 2015年12月14日(月)
実習施設 : 大田区さわやかサポート(地域包括支援センター) 入新井 (2名)
港区みなと保健所 (2名)

(3) 大学院特論

1) 地域看護学特論 I

担当： 永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学 地域看護学教室

小林小百合／東京工科大学 医療保健学部看護学科高齢者看護学

田上豊／埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科

日程： 2015年6月9日～7月21日 火曜日

内容： 地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を用いながら学ぶとともに、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

日程		講義題目	担当
6月9日	(火) 13:00~16:20	地域看護学の概念について	永田
6月16日	(火) 13:00~16:20	文献レビューについて	永田
6月23日	(火) 13:00~16:20	輪読	永田
6月30日	(火) 13:00~16:20	エスノグラフィー	小林
7月7日	(火) 13:00~16:20	輪読	永田
7月14日	(火) 13:00~16:20	在宅ケアシステムの現状とこれまでの経緯 (歴史・研究)	田上
7月21日	(火) 13:00~16:20	介入研究の具体例と組み方	永田

2) 地域看護学特論Ⅱ

担当： 永田智子・成瀬昂・蔭山正子・飯坂真司・御子柴直子／東京大学 地域看護学教室

大森純子／東北大学大学院医学系研究科

日程： 2015年9月15日～10月30日 火曜日

内容： 地域看護学の理論・実践・研究について修士レベルの教科書を使いながら学ぶと共に、地域看護活動の方法論の一つである地域組織活動の理論と応用を学ぶ。

日程	講義題目	担当
9月15日 (火) 13:00～16:20	尺度開発(1)	永田
9月29日 (火) 13:00～16:20	尺度開発(2)、退院支援(1)	永田
10月6日 (火) 13:00～16:20	退院支援(2)	永田
10月13日 (火) 13:00～16:20	地域のビッグデータ研究	永田
10月20日 (火) 13:00～16:20	保健指導・健康教育(1)	永田
10月27日 (火) 13:00～16:20	保健指導・健康教育(2)	永田
10月30日 (金) 13:00～16:20	CBPR(Community Based Participatory Research)	大森

3) 支援技術論 I (保健師教育科目)

担当：永田智子・蔭山正子・成瀬昂・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

荒木田美香子／国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

安齋由貴子／宮城大学大学院看護学部看護学科

上野昌江／大阪府立大学看護学地域看護学

日程：2015年4月7日～6月11日 火曜日（一部例外あり）

内容：地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。特に、対人支援技術（信頼関係の構築、家庭訪問、健康診査、健康相談、健康教育、ケースマネジメント、グループ支援）に焦点を当てる。

日程		講義題目	担当
4月7日	(火) 13:00~16:20	保健師によるグループ支援の技術(1)	蔭山
4月14日	(火) 13:00~16:20	保健サービスシステムの評価：演習	永田・蔭山
4月28日	(火) 13:00~16:20	保健師によるスクリーニング技術：乳幼児健康診査など	上野
5月19日	(火) 13:00~16:20	集団健康教育の理論と実践	荒木田
5月26日	(火) 13:00~16:20	保健師による個別支援技術：家庭訪問、面接、電話など	上野
6月2日	(火) 13:00~16:20	保健師によるグループ支援の技術(2)：支援技術のまとめ	蔭山
6月11日	(木) 13:00~16:20	保健師による施策化・システム構築の基盤となる概念と支援技術	安齋

4) 支援技術論Ⅱ（保健師教育科目）

担当：永田智子・蔭山正子・成瀬昂・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

安齋由貴子／宮城大学大学院看護学部看護学科

上野昌江／大阪府立大学看護学地域看護学

大木幸子／杏林大学保健学部看護学科

後藤陽子／大田区地域包括支援センター入新井

小西かおる／大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション科学講座

錦戸典子／東海大学大学院健康科学研究科看護学専攻産業看護学

日程：2015年6月18日～7月31日 月・木曜日

内容：地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、ライフステージ別（母子・成人・高齢者等）、健康課題別（難病・精神・感染症等）、集団別（障がい者・マイノリティ等）にみた健康問題の根拠法令、支援システム、具体的な活動を学ぶ。

日程		講義題目	担当
6月18日	(木) 13:00~16:20	健康課題や特定集団への保健師の支援技術：難病	小西
6月25日	(木) 13:00~16:20	健康課題に応じた保健師による支援技術：感染症	大木
7月6日	(月) 13:00~16:20	健康課題に応じた保健師による支援技術：災害	安齋
7月9日	(木) 13:00~16:20	健康課題に応じた保健師による支援技術：障がい者	蔭山
7月16日	(木) 13:00~16:20	ライフステージに応じた保健師の支援技術：高齢者保健	後藤
7月27日	(月) 13:00~16:20	ライフステージに応じた保健師の支援技術：母子保健	上野
7月31日	(金) 9:00~12:10	ライフステージに応じた保健師の支援技術：成人保健	錦戸

5) 公衆衛生看護学 I (保健師教育科目)

担当：永田智子・蔭山正子・成瀬昂・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

麻原きよみ／聖路加国際看護大学地域看護学

五十嵐千代／東京工科大学医療保健学部看護学科

日程：2015年4月9日～5月28日 木曜日

内容：コミュニティの健康課題を明確化する方策、および、課題解決に向けた活動方法について学ぶ。具体的には、地域診断とコミュニティ支援の方策について学ぶ。また、学校保健・産業保健における看護活動の展開方法についても学ぶ。

日程		講義題目	担当
4月9日	(木) 9:00~12:10	公衆衛生看護学総論	永田
4月16日	(木) 9:00~12:10	地域診断の方法論(1):総論	永田
4月30日	(木) 9:00~12:10	地域診断の方法論(2):エスノグラフィの応用と参与観察	麻原
5月7日	(木) 9:00~12:10	地域診断の方法論(3):統計データ分析、エリア決め、参与観察準備、フィールド演習計画	永田
5月14日	(木) 9:00~12:10	公衆衛生看護における社会的環境の影響	永田
5月21日	(木) 9:00~12:10	公衆衛生看護における物質的・科学的環境の影響	五十嵐
5月28日	(木) 9:00~12:10	地域診断の方法論(4):フィールド演習	永田

6) 公衆衛生看護学Ⅱ（保健師教育科目）

担当：永田智子・蔭山正子・成瀬昂・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

麻原きよみ／聖路加国際看護大学地域看護学

五十嵐千代／東京工科大学医療保健学部看護学科

日程：2015年6月10日～7月22日 水曜日

内容：公衆衛生看護学の歴史、世界の動向、倫理、基盤となる概念を学ぶ。

日程	講義題目	担当
6月10日 (水) 9:00~12:10	公衆衛生看護学の基礎となる理論(2)：ミネソタ Wheel 地域診断の方法論(5)：分析	永田
6月17日 (水) 9:00~12:10	地域診断の方法論(6)：分析、発表準備	永田
6月24日 (水) 9:00~12:10	産業保健看護活動論(1)：概要、組織アセスメント	五十嵐
7月1日 (水) 9:00~12:10	公衆衛生看護学の基礎となる理論(3)：ミネソタ Wheel 地域診断の方法論(7)：発表準備	永田
7月8日 (水) 9:00~12:10	保健師活動における倫理	麻原
7月15日 (水) 9:00~12:10	地域診断の方法論(8)：発表	永田
7月22日 (水) 9:00~12:10	産業保健看護活動論(2)：個別支援の理論と実践	五十嵐

7) 行政看護学特論（保健師教育科目）

担当：永田智子・蔭山正子・成瀬昂・飯坂真司・御子柴直子／東京大学地域看護学教室

大木幸子／杏林大学保健学科看護学科

小宮山恵美／東京都北区健康福祉部副参事 介護・医療連携推進担当

深堀浩樹／東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科看護先進科学専攻

吉岡京子／東京医科大学医学部看護学科地域看護学

吉田修馬／東京大学大学院医学系研究科医療倫理学分野

日程：2015年9月16日～10月28日 水曜日

内容：健康政策や公衆衛生看護実践に関わる倫理的問題を議論する能力を養うとともに、事業化・施策化やリーダーシップに関する実践的能力を養うことを目的とする。具体的には、専門的知識を学び、批判的思考力を養うため課題やディスカッションに取り組む。

	日程	テーマ	担当
9月16日	(水) 9:00~12:00	公衆衛生看護と公共論	大木
9月30日	(水) 9:00~12:00	行政機関における健康政策：施策化、評価	吉岡
10月7日	(水) 9:00~12:00	行政保健師による事業化と施策化：理論	吉岡
10月14日	(水) 9:00~12:00	公衆衛生倫理	吉田
10月19日	(月) 13:00~16:20	行政保健師のリーダーシップと管理能力：理論	深堀
10月21日	(水) 9:00~12:00	行政保健師による事業化と施策化：実践	小宮山
10月28日	(水) 9:00~12:00	課題発表	永田

(4) 大学院実習

1) 公衆衛生看護学実習Ⅰ

産業保健実習：2015年8月26日（水）

実習施設：富士電機（株） 健康管理センター

学校保健実習：2016年1月27日（水）

実習施設：東京大学教育学部附属中等教育学校

継続実習：公衆衛生看護学実習Ⅱ終了後

実習施設：文京区保健サービスセンター

2) 公衆衛生看護学実習Ⅱ

2015年11月16日（月）～12月11日（金）

実習施設：文京区保健サービスセンター等

実習報告会：2016年2月15日（月）

(5) 活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー養成プログラム
大学院講義

1) 高齢社会総合研究特論Ⅳ 高齢社会のケア・サポート・システム

2015年6月11日 高齢者のケアマネジメント 担当：成瀬昂

2015年6月18日 高齢者の退院支援・地域診断 担当：永田智子

(6) 卒業論文

中村友亮（指導教員：永田智子）

訪問看護事業所の看護師あたりの訪問件数とその周辺地域の高齢者人口の関連。

松下はるゑ（指導教員：永田智子）

介護老人福祉施設の職員と入所者の間の会話時間に関連する要因。

(7) 修士論文

錦織梨紗（指導教員：永田智子）

外来看護師による在宅療養支援の実態——一般病床100床以上の病院を対象とした全国調査——。

田川愛子（指導教員：永田智子）

外出に対する環境的バリアとその精神的健康との関連：2-3歳児の母親による評価。

本田千可子（指導教員：永田智子）

Home safety practices to prevent child injury and its association with daily routines for child: a cross sectional study.

松本博成（指導教員：永田智子）

An ethnographic study on older person's regular use of a socialization place in the suburb of Tokyo.

(8) 博士論文

齋藤あや（指導教員：永田智子）

Effectiveness of Stepwise Perinatal Immunization Education:A Cluster Randomized Controlled Trial.

（周産期における段階的に実施する予防接種教育効果の検証：クラスターランダム化比較試験）.

阪井万裕（指導教員：永田智子）

訪問看護サービス利用者毎に受け持ち訪問看護師が評価した、連携のしやすさと利用者へのケアにおける目標達成度との関連.

岩崎りほ（指導教員：永田智子）

市町村保健師の職業的アイデンティの構造.

5 学内での活動

(1) 委員会活動

永田智子

医学部健康総合科学科 教育委員	2007年4月～
医学部カリキュラム改革WGメンバー	2014年1月～
医学図書館運営ワーキンググループメンバー	2013年4月～
東京大学リーディング大学院プログラム 「活力ある超高齢社会を共創するグローバル・リーダー 養成プログラム」 幹事	2013年10月～

成瀬昂

医学部健康総合科学科 進学生増委員会 委員	2012年4月～
医学部健康総合科学科 テキスト企画・変種委員会 委員	2015年7月～

(2) 看護系教室役割分担

看護進学生増担当	2014年4月～
看護シンポジウム担当	2014年4月～

(3) 教室内での役割分担

勉強会係	蔭山正子	土屋瑠見子	田川愛子	茂寿枝
研究会係	御子柴直子	山本なつ紀	松本博成	前田明里
	角川由香			
親睦会・PC係	成瀬昂	寺本千恵	本田千可子	錦織梨紗
	川上文子			

6 学会における活動

永田智子

BioScience Trends

Editor 2008年1月～

日本地域看護学会

理事 2009年8月～

査読委員 2009年8月～

編集委員会委員 2012年8月～

日本看護科学学会

英文誌編集委員会委員 2010年1月～

社員（代議員） 2015年2月～

日本在宅ケア学会

評議員 2012年4月～

編集委員会委員 2012年4月～

学会活動推進委員会委員 2015年4月～

日本民族衛生学会

編集委員会委員 2012年1月～

評議員 2014年1月～

日本公衆衛生看護学会

理事 2012年7月～

編集委員会委員 2015年4月～

日本公衆衛生学会

評議員 2014年11月～

査読委員 2015年8月～

成瀬昂

日本看護科学学会

査読委員 2015年10月～

蔭山正子

日本地域看護学会

査読委員 2015年4月～

日本公衆衛生看護学会

査読委員 2013年6月～

教育委員 2015年4月～

日本公衆衛生学会

査読委員 2015年4月～

公衆衛生看護のあり方に関する委員会 2015年4月～

阪井万裕

日本地域看護学会

18回学術集会 実行委員

2015年8月1～2日

7 社会的活動

永田智子

東京都在宅療養推進会議退院支援検討部会 委員	2015年4月～2016年3月
東京都退院支援強化研修 研修企画委員会 委員	2013年9月～
全国保健師教育機関協議会 理事	2014年6月～2015年5月
全国訪問看護事業協会 「訪問看護ステーションにおける24時間対応体制に関する調査研究事業」 検討委員会委員	2015年5月～2016年3月

蔭山正子

家族による家族学習会 普及事業企画委員	2007年4月～
------------------------	----------

阪井万裕

東京都文京区 介護保険認定審査会 委員	2013年4月～2016年3月
------------------------	-----------------

8 教室日誌

2015年

- 4月8日 ウェルカムランチ (研究室)
- 7月17日 夏の大掃除
- 7月17日 納涼会 (本郷「オステリア ココ・ゴローズ」)
- 8月2日 日本地域看護学会第18回学術集会自由集会
「Photovoice の保健師・看護師教育における活用可能性を探
る」
- 9月17日-18日 コロラド大学教授 Kathy Magilvy 先生 来日
- 12月15日 忘年会 (本郷「ドマーニ イル レスト」)
- 12月22日 年末大掃除
- 2016年
- 1月22日 福井県ジェロントロジー研究報告会 (参加：成瀬)
- 1月24日 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会ワークショップ
「Intervention Wheel の日本への応用—保健師活動の国際
的議論に向けて—」
- 3月8日 送別会 (湯島「サイアム食堂」)
- 3月18日 年度末大掃除

9 教室員名簿(2015年度)

准教授	永田智子			
非常勤講師	麻原きよみ 大木幸子	安齋由貴子 角田直枝	五十嵐千代 田上豊	上野昌江 吉岡京子
助教	成瀬昂 蔭山正子 飯坂真司 (老年看護学分野兼担)			
特任助教	御子柴直子			
事務員	堀美奈子	山口千鶴子	竹田由美	
大学院生 (博士課程)	齋藤あや 山本なつ紀 島村珠枝(休学中)	阪井万裕	寺本千恵 櫻井美里(休学中)	土屋瑠見子
大学院生 (修士課程)	錦織梨紗 川上文子 永見悠加里(休学中)	田川愛子 茂寿枝	本田千可子 角川由香	松本博成 前田明里
卒論生	武井聡	中村友亮	松下はるゑ	
客員研究員	秋山直美 鷺見尚己 堀越直子	大島浩子 田口敦子 横山由美	栞原雄樹 戸村ひかり	小林小百合 服部真理子
教室研究生	石川英里 関根綾希子 廣田真由美 山居優子	岩崎りほ 鶴見日佳理 松永篤志 吉羽久美	国井由生子 野海直子 水井翠	鈴木樹美 馬場千恵 柳瀬裕貴